

製品名: PF4 (3J12) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16006**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	11kDa

抗原情報

遺伝子名	PF4
別名	C-X-C motif chemokine 4; CXCL4; Iroplact; OncostatinA; PF4; Platelet factor 4; SCYB4; short form; Small inducible cytokine subfamily member 4;
遺伝子 ID	5196.0
SwissProt ID	P02776
免疫原	ヒト PF4 の合成ペプチド

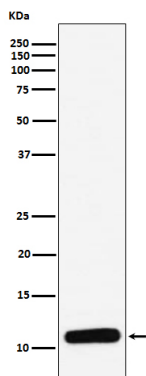
背景

血小板凝集時に放出されます。ヘパリンとの結合力がキャリア分子のコンドロイチン-4-硫酸鎖よりも強いいため、ヘパリンの抗凝固作用を中和します。好中球および単球に対して走化性を示します。内皮細胞の増殖を阻害しますが、ショートフォームはロングフォームよりも強力な阻害薬です。血小板凝集時に放出されます。ヘパリンとの結合力がキャリア分子のコンドロイチン-4-硫酸鎖よりも強いいため、ヘパリンの抗凝固作用を中和します。好中球および単球に対して走化性を示します。内皮細胞の増殖を阻害しますが、ショートフォームはロングフォームよりも強力な阻害薬です。

研究分野

免疫学

画像データ



ヒト脾臓溶解物中の PF4 発現のウェスタンブロット分析。